

2014年11月期

# 決算説明会資料

2015年2月5日(木)  
イワキ株式会社  
(東証1部:8095)

連結業績の概況

次期の見通し

主要子会社の取り組み

ご参考資料

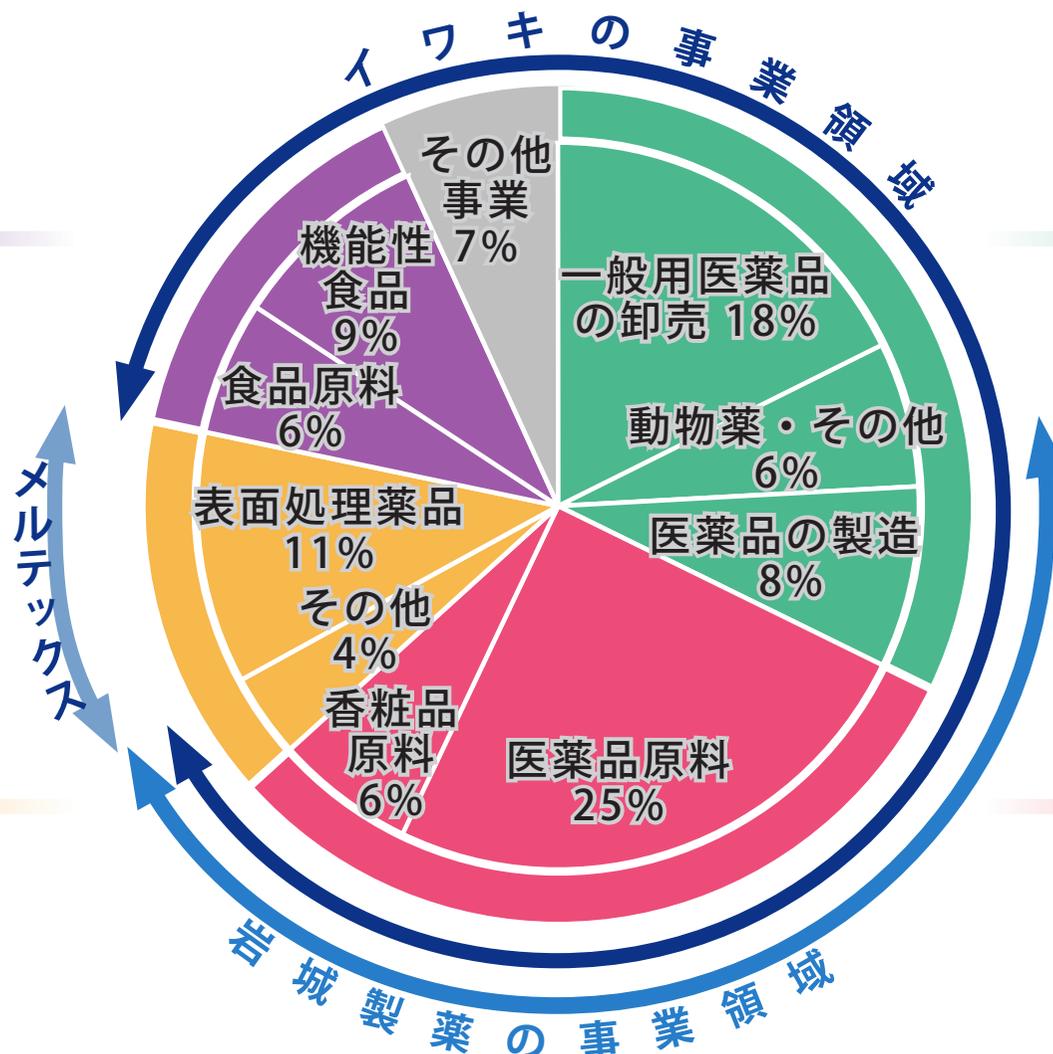
## 連結業績の概況

イワキ・グループ  
とは

「医薬品」を中心に  
「研究開発」・「製造」から「販売」までの一連の事業活動において  
「原料」から「製品」までの幅広い商品・サービスを提供しています

食品原料・  
機能性食品事業  
15%

化成品事業  
15%



医薬品事業  
32%

医薬品原料・  
化粧品原料事業  
31%

2014年11月期は前期に比べ増収、メルテックスの在外子会社5社が連結対象となり販管費が増加したため減益となりました。

(単位：百万円)

	2013年11月期	2014年11月期			
	実績	実績	前期増減率	予想 <sup>※</sup>	予想比
売上高	52,465	54,145	3.2%	53,000	102.2%
医薬品	17,145	17,435	1.7%		
医薬品原料・化粧品原料	15,978	16,855	5.5%		
化粧品	7,970	8,086	1.5%		
食品原料・機能性食品	7,762	8,055	3.8%		
その他	3,608	3,712	2.9%		
営業利益	1,007	890	△ 11.6%	1,000	89.1%
医薬品	127	105	△ 17.7%		
医薬品原料・化粧品原料	1,070	999	△ 6.6%		
化粧品	△ 68	△ 94	—		
食品原料・機能性食品	365	319	△ 12.6%		
その他	95	79	△ 16.6%		
調整額	△ 582	△ 518	—		
経常利益	1,154	971	△ 15.9%	1,100	88.3%
当期純利益	754	505	△ 33.1%	650	77.7%

※ 2014年1月14日 決算短信にて開示した連結業績予想

# セグメント別の概況①

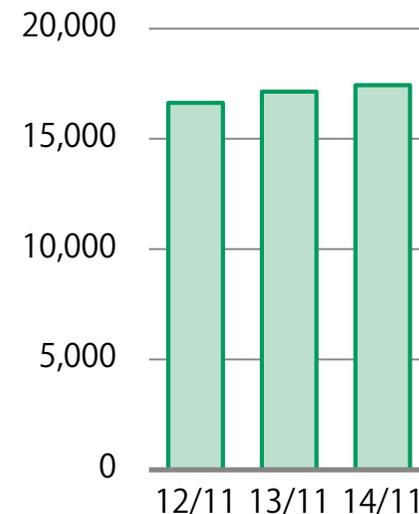
## 医薬品

ジェネリック医薬品の好調により営業黒字を維持

ジェネリック医薬品は、外皮用剤が大幅に伸長  
緩下剤、受託品、新発売品も順調に推移

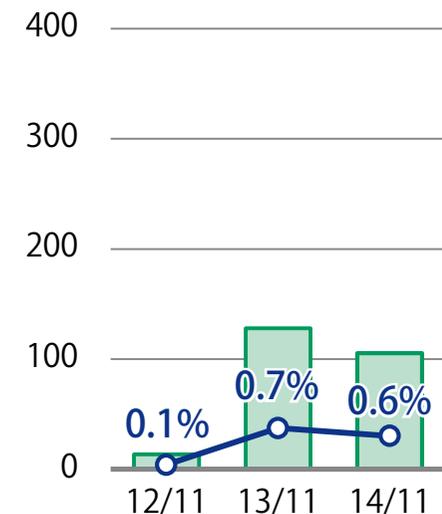
ドラッグストア向け商品では、新規取扱品や自社  
企画品は拡大するも、全体としては堅調に推移

□売上高（百万円）



■ 通期実績

□営業利益（百万円）



— 営業利益率

## 医薬品原料・化粧品原料

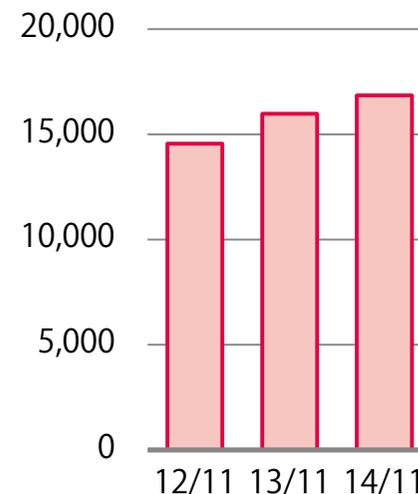
積極的な営業活動により増収だが、営業利益は微減

医療用医薬品原料では、旧来型製品に比べ、ジェ  
ネリック医薬品向けが好調に推移

一般用医薬品原料は、主力の血管収縮剤原料が海  
外向けで伸長、一方去痰剤原料が低調に推移

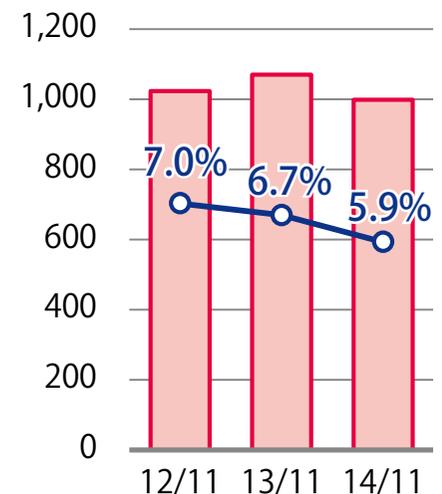
化粧品原料は、主力原料の新規採用や受託原料  
など好調に推移

□売上高（百万円）



■ 通期実績

□営業利益（百万円）



— 営業利益率

# セグメント別の概況②

## 化 成 品

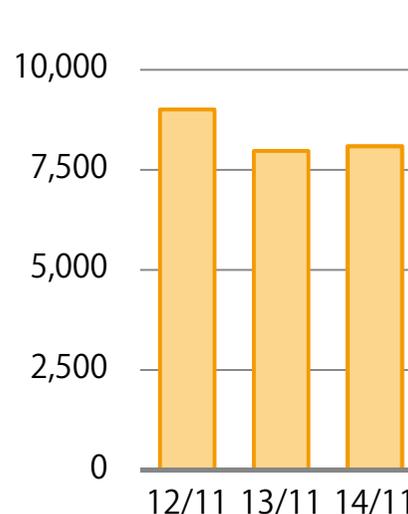
在外子会社の連結子会社化の影響で営業損失を計上

国内は、プリント配線板、チップ部品向け薬品が好調に推移

海外は、チップ部品向け薬品が堅調  
プリント配線板向け、その他の電子部品向け薬品が低調

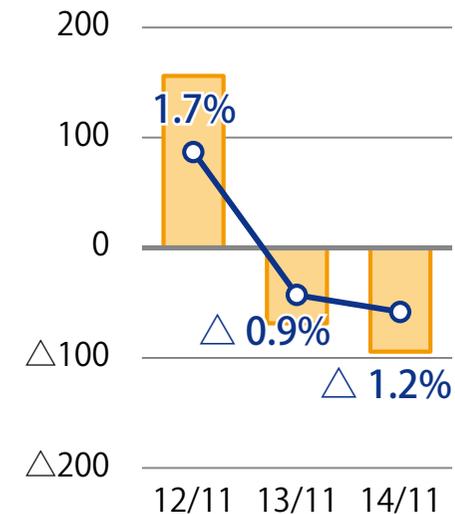
化学品原料は、酢酸類は好調に推移するも、全体としては低調

□売上高 (百万円)



■ 通期実績

□営業利益 (百万円)



— 営業利益率

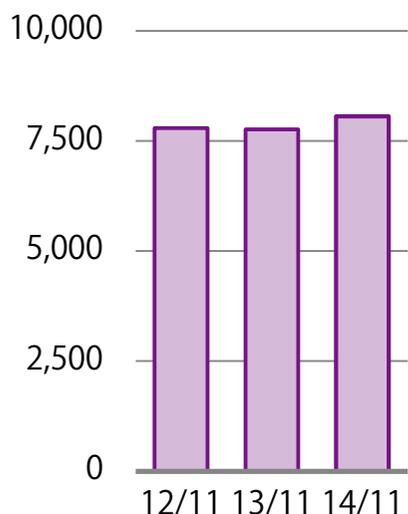
## 食品原料・機能性食品

拡販に努め増収となるも、輸入原料価格の高騰により減益

食品原料は、関連会社製品の提案、農産加工品、天然調味料、国内仕入品の拡販に努めるも、全体としては輸入原料価格の高騰などにより低調に推移

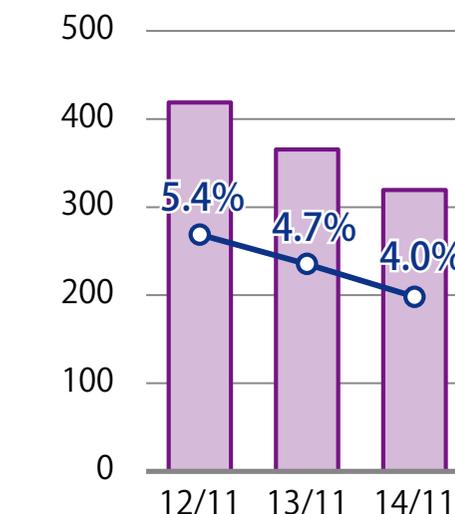
機能性食品は、美容、エイジングケアを訴求する原料の拡販に努めるも、全体としては低調に推移

□売上高 (百万円)



■ 通期実績

□営業利益 (百万円)



— 営業利益率

(単位：百万円)

< 資産の部 >	2013年 11月期末	2014年 11月期末	増減額	< 負債・純資産の部 >	2013年 11月期末	2014年 11月期末	増減額
現金・預金	3,835	4,341	506	支払手形・買掛金 <sup>※2</sup>	12,229	12,492	262
受取手形・売掛金 <sup>※1</sup>	15,809	16,802	993	短期借入金	2,658	3,730	1,072
棚卸資産	4,571	4,999	427	その他流動負債	2,172	2,411	239
その他流動資産	818	1,122	304	長期借入金	1,157	927	△230
有形固定資産	7,405	8,048	643	その他固定負債	2,580	2,775	195
無形固定資産	351	311	△40	負債合計	20,797	22,336	1,538
投資その他資産	4,887	4,090	△797	株主資本	16,163	16,353	189
				その他の包括利益累計額	717	1,026	308
				純資産合計	16,881	17,379	498
資産合計	37,678	39,716	2,037	負債・純資産合計	37,678	39,716	2,037

※1 「受取手形・売掛金」には電子記録債権を含みます。 ※2 「支払手形・買掛金」には電子記録債務を含みます。

(単位：百万円)

	2013年11月期	2014年11月期	増減額
<b>営業活動によるC F</b>	<b>524</b>	<b>432</b>	<b>△ 91</b>
税金等調整前当期純利益	1,166	957	△ 209
減価償却費	779	866	87
その他	△ 1,421	△ 1,391	30
<b>投資活動によるC F</b>	<b>△ 962</b>	<b>△ 607</b>	<b>354</b>
有形固定資産の取得による支出	△ 374	△ 534	△ 159
無形固定資産の取得による支出	△ 145	△ 67	78
その他	△ 442	△ 6	435
<b>財務活動によるC F</b>	<b>△ 170</b>	<b>438</b>	<b>608</b>
短期借入金の増減額 (△は減少)	300	500	200
長期借入金の増減額 (△は減少)	△ 162	342	504
配当金の支払額	△ 201	△ 252	△ 50
その他	△ 106	△ 151	△ 44
<b>現金及び現金同等物の増減額など*</b>	<b>△ 586</b>	<b>420</b>	<b>1,006</b>
<b>現金及び現金同等物の期末残高</b>	<b>3,704</b>	<b>4,124</b>	<b>420</b>

※ 「現金及び現金同等物の増減額など」には「連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額」121百万円を含みます。

2014年11月期はグループ中期経営計画の最終年度であり、数値目標の達成に向けて各種施策に取り組んでまいりました。

### 事業基盤・事業規模の強化、拡大

医薬品事業の変革と収益改善

医薬品原料・化粧品原料事業のシェア拡大

化成品事業（表面処理薬品）の自社品・海外売上比率向上、研究開発のスピードアップ

食品原料・機能性食品事業の新規開拓

### 収益構造改善

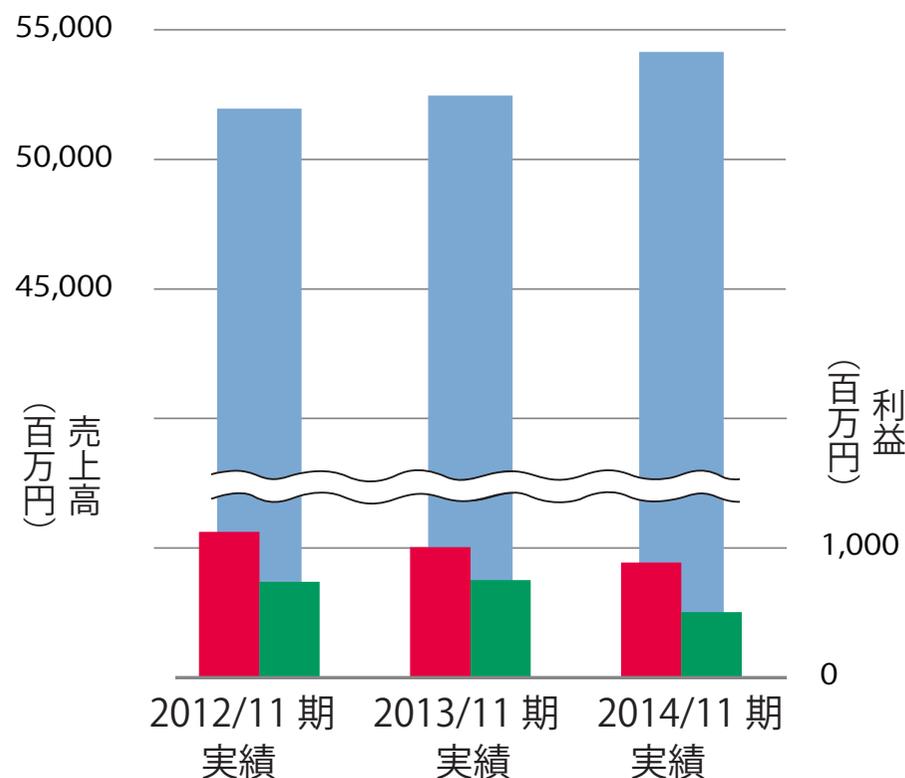
重複業務集約による業務品質向上・効率化

設備投資による生産体制の効率化

グループ資金の効率的運用

### 連結実績推移

■売上高 ■営業利益  
■当期純利益



### 2014年11月期実績

	目標	実績	達成率
売上高	530億円	541億円	102%
営業利益	10億円	8.9億円	89%
当期純利益	6.5億円	5.0億円	77%

※ 2014年11月期数値目標については重点施策の進捗状況ならびに今後の外部環境予想を勘案した結果、数値目標の修正をいたしました。

## 次期の見通し

2015年11月期につきましては、重点事業領域の拡大、生産性の向上、海外拠点の整備などに注力してまいります。

(単位：百万円)

	2014年11月期	2015年11月期		
	実績	予想	前期比	前期増減額
売上高	54,145	53,000	△ 2.1%	△ 1,145
営業利益	890	900	1.1%	9
経常利益	971	950	△ 2.2%	△ 21
当期純利益	505	600	18.7%	94

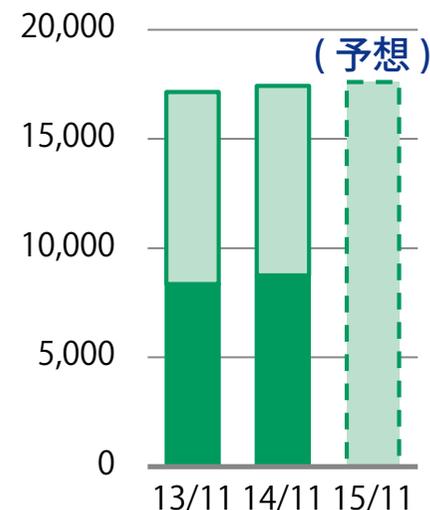
# セグメント別の見通し①

次期の見通し

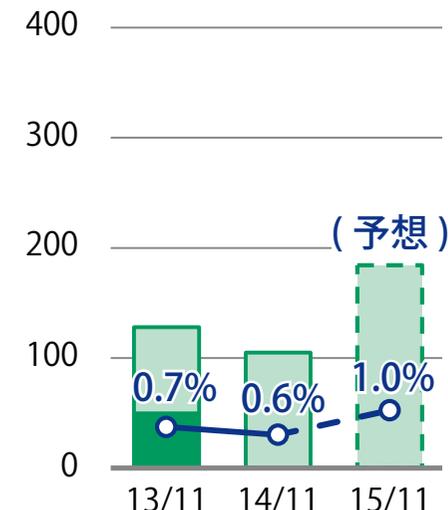
## 医薬品

- ・ 医療用医薬品では、製造設備増強・製造委託による安定供給や積極的な情報提供に注力
- ・ 一般用医薬品および関連商品では、新規商品の開拓および自社による商品企画・開発に注力

□売上高 (百万円)



□営業利益 (百万円)



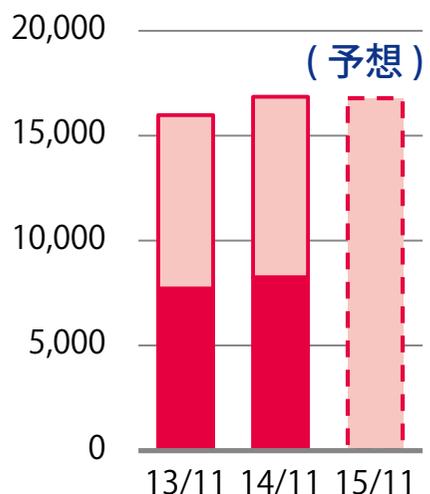
■ 第2四半期累計期間

■ 通期 — 営業利益率

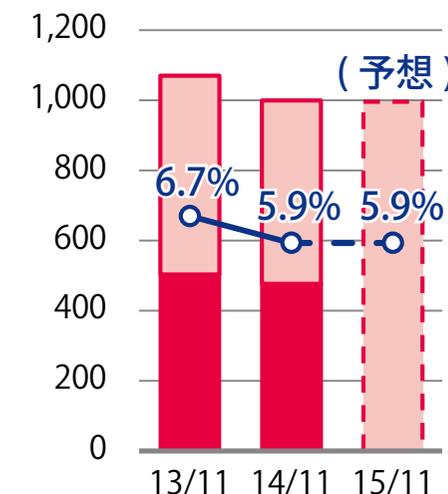
## 医薬品原料・化粧品原料

- ・ 医薬品原料では、ジェネリック医薬品における自社原料・輸入医薬品原料の開発、高品質・低価格・安定供給ニーズへの対応、長期収載品の製造受託の提案強化
- ・ 化粧品原料では、海外向け販売の強化、主力顧客における新規採用品目の拡大、受託加工品目の拡大に努める

□売上高 (百万円)



□営業利益 (百万円)



■ 第2四半期累計期間

■ 通期 — 営業利益率

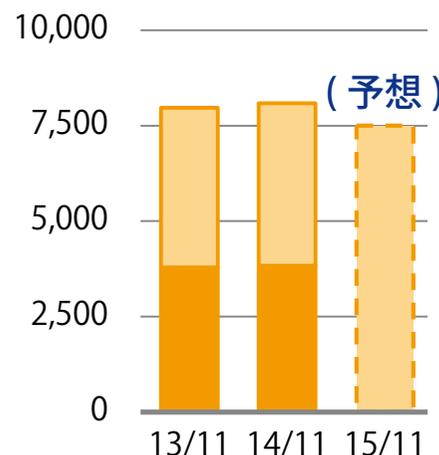
# セグメント別の見通し②

次期の見通し

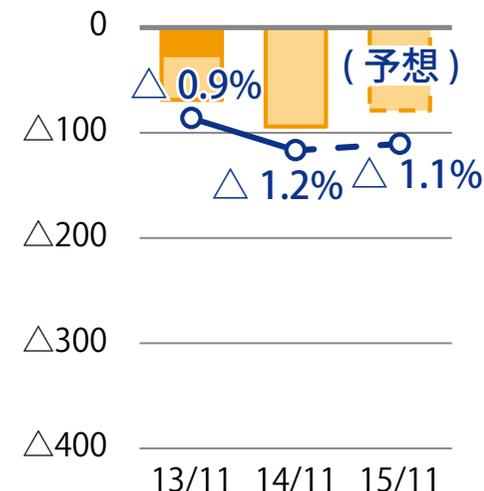
## 化 成 品

- ・ 表面処理薬品では、プリント配線板向け薬品・チップ部品向け薬品などの新製品開発に注力
- ・ 海外製造拠点の充実、海外拠点における営業の強化
- ・ 輸入化学品原料では、酢酸類・特殊溶剤の新規顧客獲得に注力

□売上高 (百万円)



□営業利益 (百万円)



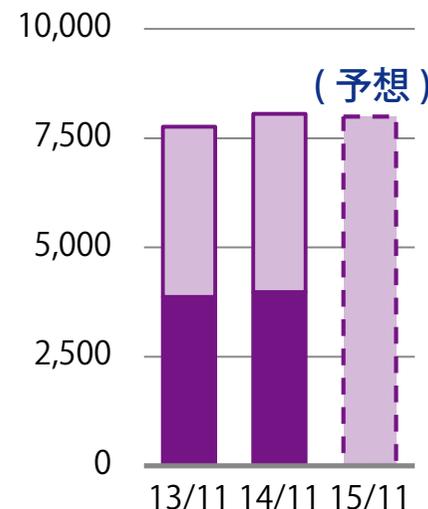
■ 第 2 四半期累計期間

■ 通期 — 営業利益率

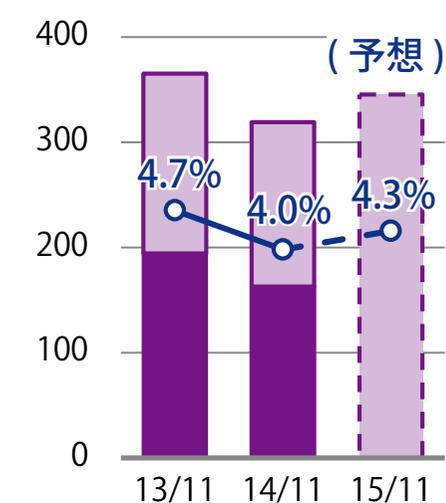
## 食品原料・機能性食品

- ・ 食品原料では、新製品の市場投入、新規得意先開拓など販売の拡大に取り組む
- ・ 機能性食品では、機能性表示制度を背景に原料の提案、情報提供活動に注力するとともに、エイジングケア・健康維持を目的とした原料の提案活動の展開に注力

□売上高 (百万円)



□営業利益 (百万円)



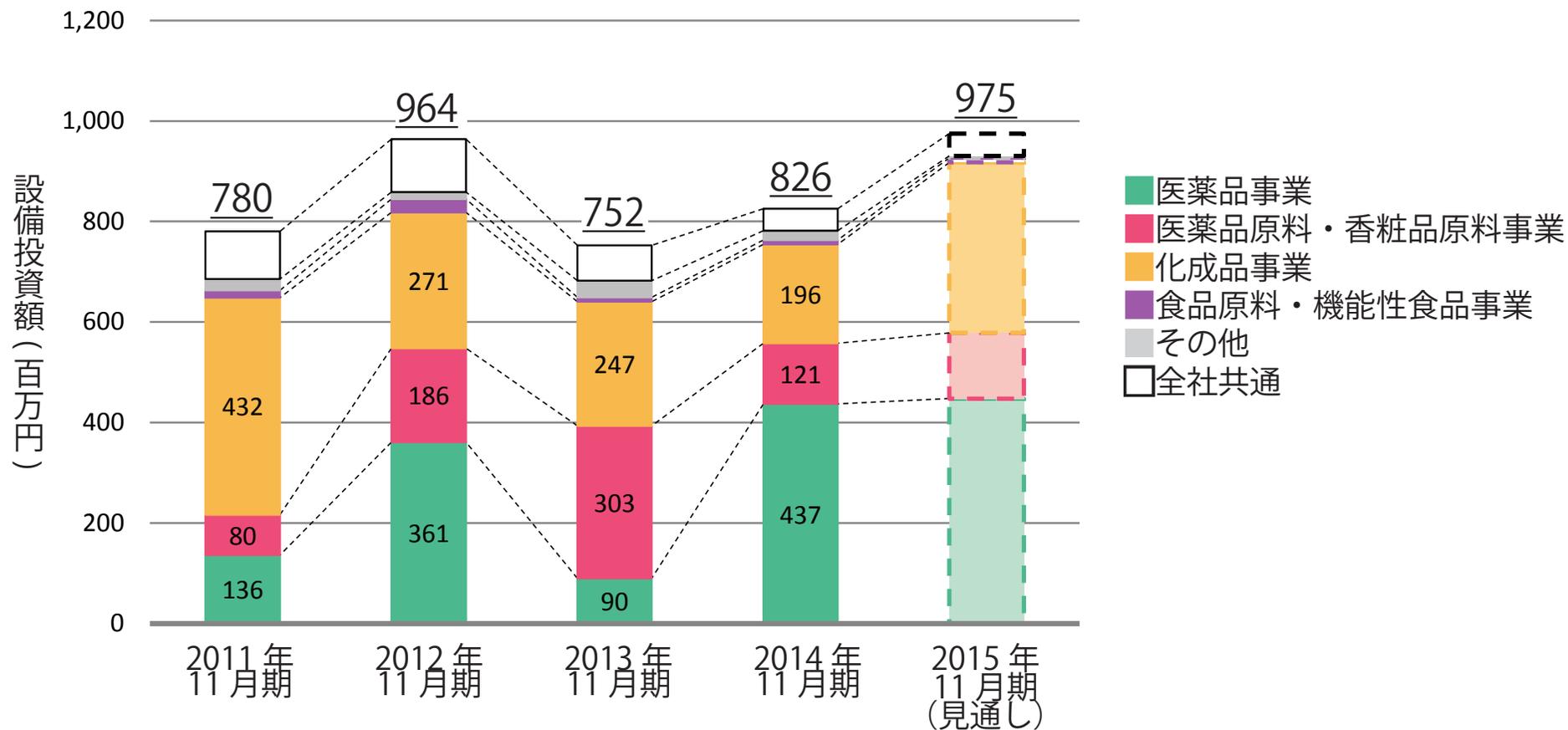
■ 第 2 四半期累計期間

■ 通期 — 営業利益率

設備投資については、生産能力・研究開発力向上に向けて積極的な設備投資を行ってまいります。

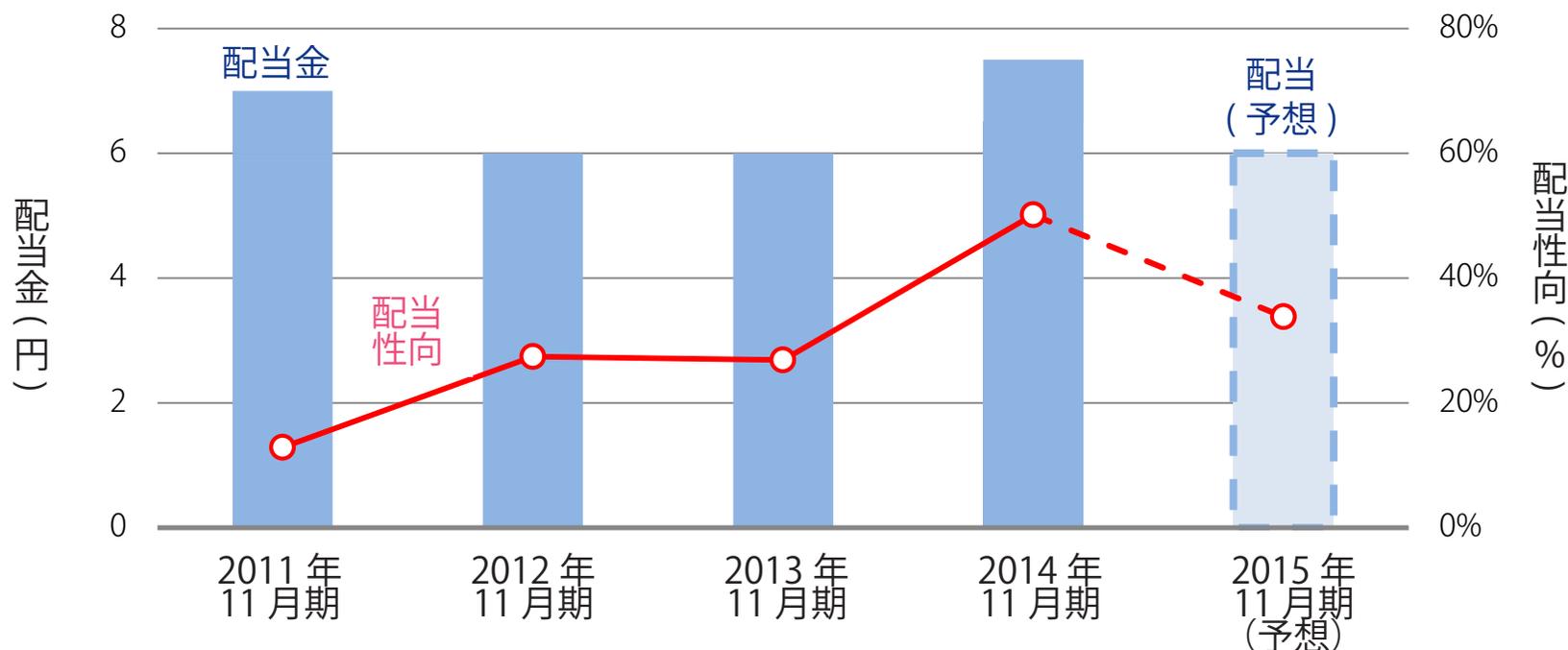
2015年11月期に予定している主な設備投資は以下の通りです。

- 打錠機、チューブ充填機など（岩城製薬(株)蒲田工場）
- 研究開発向け分析装置など（メルテックス(株)）



当社は将来にわたって経営基盤の強化と収益の向上を図り、株主の皆様への安定的かつ継続的な成果の配分を行うことを基本方針としております。

		単位	2011年 11月期	2012年 11月期	2013年 11月期	2014年 11月期	2015年 11月期(予想)
E P S	円		54.37	21.88	22.34	14.96	17.77
配 当 金	円/株		7.00	6.00	6.00	7.50 <sup>*</sup>	6.00
配 当 性 向	%		12.9	27.4	26.9	50.1	33.8



※期末配当金の3円/株につきましては2月26日開催予定の第75回定時株主総会に付議いたします。

## 主要子会社の取り組み

岩城製薬においてはジェネリック医薬品および医薬品原料市場へ注力すべく、積極的な設備投資を行い需要の取り込みを図ってまいります。

### 医薬品

#### ①設備投資（蒲田工場）

- ・ 打錠機、ローション充填機のリプレイスによる生産能力増強

#### ②製造委託の推進

- ・ 今期中の承認、製造開始予定

#### ③新製品の投入

- ・ 引き続きジェネリック医薬品の新製品を投入予定



<ローション充填機>

### 医薬品原料

#### ①設備投資（静岡工場）

- ・ 生産ラインの増設による増産を目指す (F-5)

#### ②新製品投入

- ・ 医薬品原料の新規開発案件やジェネリック医薬品原料開発を推進
- ・ 各ジェネリック医薬品メーカーと技術打ち合わせを継続



<F-5 GMP<sup>\*</sup>適合工場設備>

※ "Good Manufacturing Practice" の略称で医薬品の製造管理、品質管理について定めた基準のこと

メルテックスにおいては、自動車・エレクトロニクス産業等に関連した成長市場を見極め、タイムリーな新製品投入と海外拠点のさらなる充実を図ります。

### 海外拠点の概況

- ・ 韓国に販売拠点の現地法人設立  
体制整備が完了し、2014年12月より本格稼働  
早期の収益貢献をめざし、営業活動に注力
- ・ 中国販売拠点の再構築（深圳分公司）  
危険品ライセンスの取得準備中  
営業ライセンスの取得など順調に進捗中



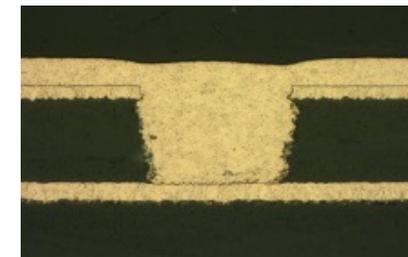
※ MX=メルテックス

<メルテックスグループ海外拠点>

### 新製品の概況

- ・ 新製品の拡販状況（高密度パッケージ基板向けなど）  
<2014年度発売済み>  
海外大手パッケージ基板メーカーで採用内定  
その他引き合いもあり、評価テスト実施中
- ・ 新製品の発売（硫酸銅めっき添加剤 ルーセントカパーシリーズ）  
<2015年3月発売予定>  
硫酸銅めっき添加剤の新標準シリーズで、平均膜厚など各種性能向上  
2年後に売上高15億円を目指す（2015年発売の他の新製品も含む）  
発売に先立ち、評価テスト実施中

ルーセントカパー SVF



<硫酸銅めっき添加剤>

ご参考資料

## ■会社概要

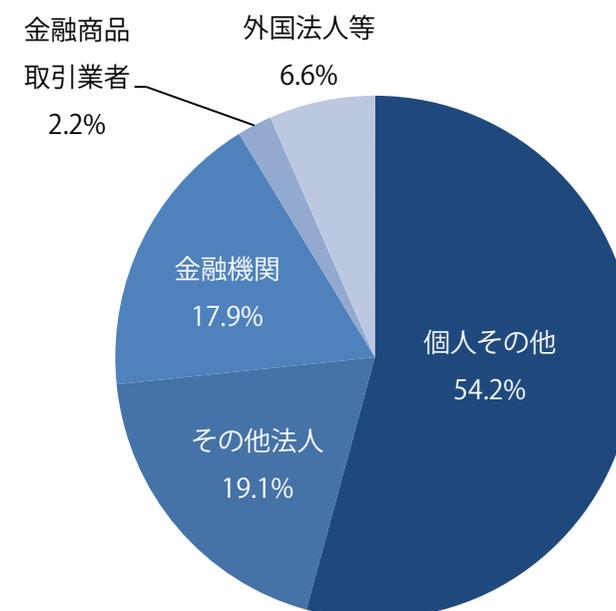
社 名		イワキ株式会社
創 業		1914年(大正 3年)7月10日
設 立		1941年(昭和16年)9月20日
資 本 金		25億7,238万円
従 業 員 数		266人
主要取引金融機関		三菱東京UFJ銀行 みずほ銀行 三井住友銀行
主 な 事 業 所		本社 大阪支社 富山支店 名古屋支店 福岡支店

## ■株式の状況

(2014年11月30日現在)

上 場 市 場		東京証券取引所第一部
証 券 コ ー ド		8095
発行済株式の総数		34,147,737株(自己株式を含む)
株 主 数		5,428名
主 な 大 株 主		株式会社三菱東京UFJ銀行 イワキ従業員持株会 ダイソー株式会社 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 株式会社みずほ銀行 三菱UFJ信託銀行株式会社 日本生命保険相互会社

### 所有者別株式分布状況 |

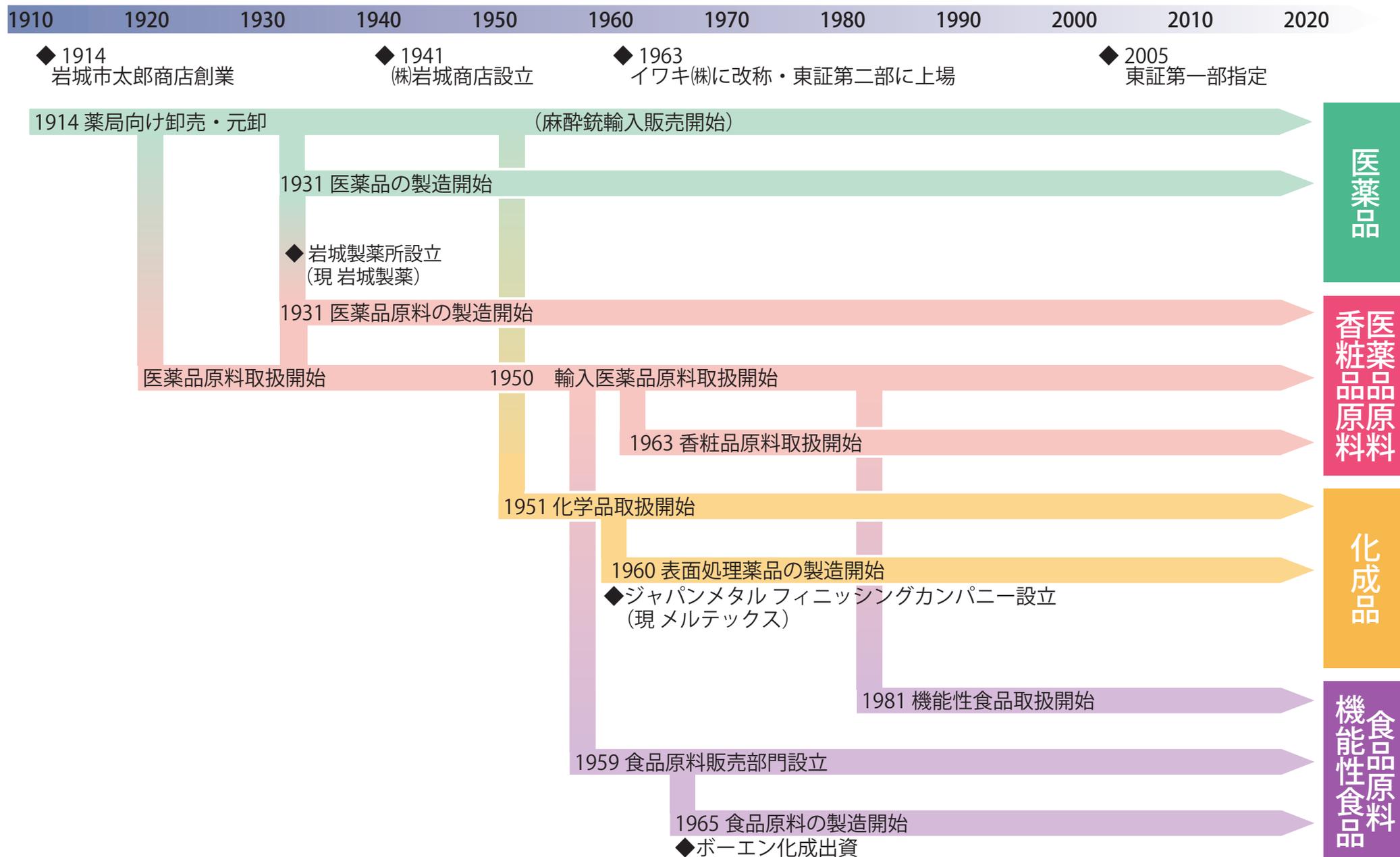


※持株比率は自己株式を控除して計算しております。

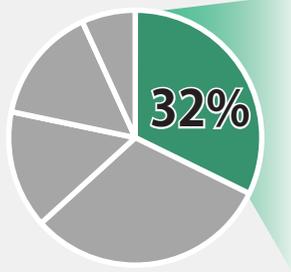
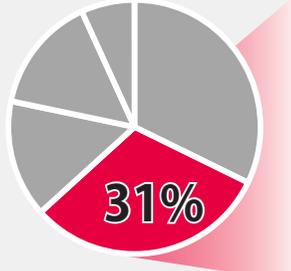
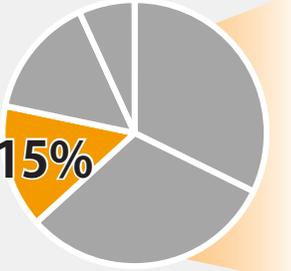
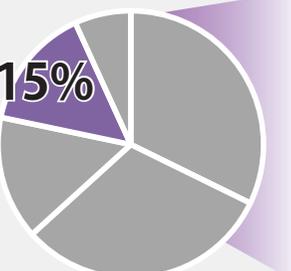
イワキ株式会社を中心に連結子会社 14 社、持分法適用会社 1 社、その他 2 社の合計 18 社からなる企業グループです。

事業	会社名	業種	主な事業内容	本社所在地
医薬品事業 医薬品原料・化粧品原料事業 化粧品事業 食品原料・機能性食品事業 その他	<b>イワキ株式会社</b>	商社	医薬品、医薬品原料、化粧品原料、化成品、食品原料、機能性食品等の販売	東京都
	<b>岩城製薬株式会社</b>	製造業	医療用医薬品、一般用医薬品、医薬品原料、化成品等の製造・販売	東京都
	ホクヤク株式会社	卸売業	北海道における動物用医薬品等の販売	北海道
	株式会社エイ・エム・アイ	卸売業	千葉・茨城地区における動物用医薬品等の販売	千葉県
	(株)パートナー・メディカル・システムズ	小売業	関東地区における調剤薬局の経営	東京都
	<b>メルテックス株式会社</b>	製造業	表面処理薬品、電子工業用薬品の製造・販売	東京都
	東海メルテックス株式会社	製造業	表面処理薬品の製造	三重県
	メルテックス香港社	卸売業	香港および中国における表面処理薬品の販売	香港
	台湾メルテックス社	卸売業	台湾における表面処理薬品の販売	台湾
	MELTEX ASIA PACIFIC Co., Ltd.	卸売業	アセアン地域における表面処理薬品の販売	タイ王国
	MELTEX ASIA(THAILAND)Co., Ltd.	製造業	アセアン地域における表面処理薬品の製造・販売	タイ王国
	MELTEX(TIANJIN)LTD .	卸売業	中国華東・華北地域における表面処理薬品の販売	中国
	MELTEX KOREA Co., Ltd.	卸売業	韓国における表面処理薬品の販売	韓国
	ポーエン化成株式会社	製造業	天然由来食品原料の製造・販売	埼玉県
	東京化工機株式会社	製造業	プリント基板製造用プラントの製造・販売	長野県
	弘塑電子設備(上海)有限公司	製造業	プリント基板製造用プラントの製造・販売	中国
	アプロス株式会社	小売業	化粧品、健康食品等の通信販売	東京都

創業時の事業ドメイン「医薬品」を基礎として、関連分野に事業を展開してまいりました。各事業には製造機能を持つグループ会社を有しております。



医薬品を中心とした4つの事業セグメントにおいて幅広い営業活動を展開しております。  
また製造機能をグループ内に持つことにより、開発から販売までを手掛けております。

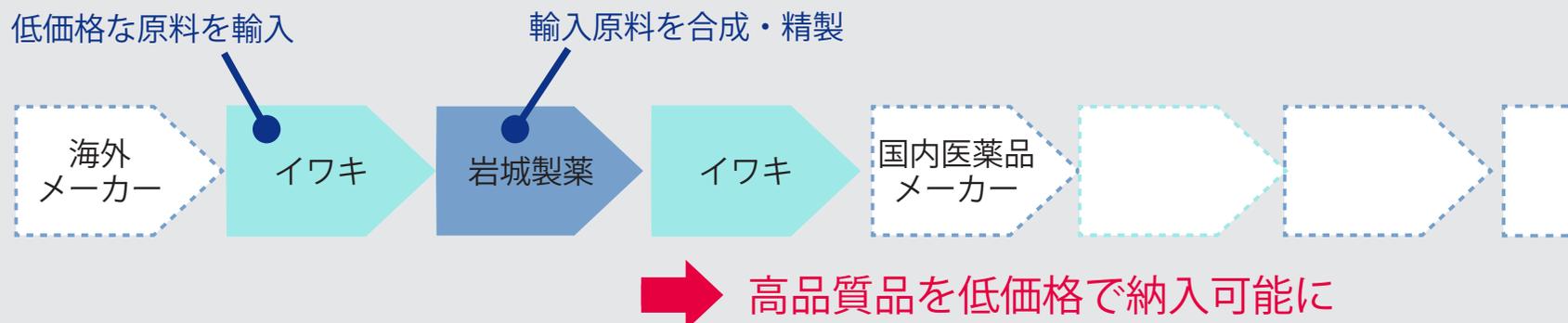
	売上高構成比	事業内 構成比	主な事業内容	主な販売先
医薬品		25%	医薬品（医療用，一般用）の製造・販売	医薬品卸
		55%	医薬品（一般用医薬品）の卸売	ドラッグストア 薬局・薬店
		20%	動物用医薬品の販売、その他	畜産農家，動物病院など
医薬品原料・ 化粧品原料		80%	医薬品原料の製造・輸入・販売	医薬品メーカー
		20%	化粧品原料の輸入・販売	化粧品メーカー
化成品		75%	表面処理薬品の製造・販売	プリント基板メーカー 電子部品メーカー 半導体メーカー
		25%	その他化成品の製造・販売	化学品メーカー
食品原料・ 機能性食品		40%	食品原料（天然調味料，乾燥野菜，乳製品等）の輸入・販売 天然調味料の開発・製造	食品メーカー （調味料，製菓，即席麺等）
		60%	サプリメント原料の販売	健康食品メーカー

医薬品マーケットのサプライチェーンにおいて幅広い事業ポジションを有することで他社にはない「つよみ」を発揮することが可能です。

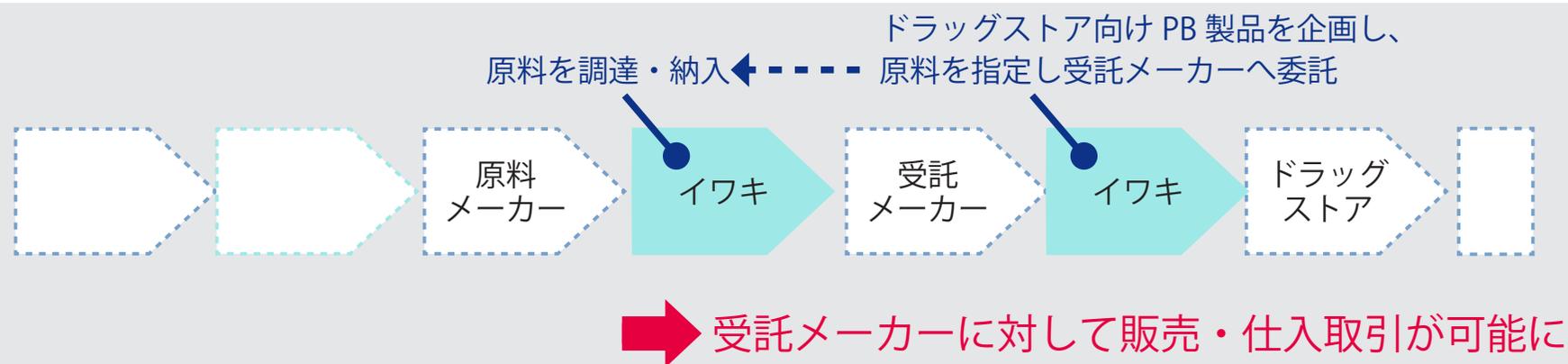
医薬品マーケットのサプライチェーン



① 輸入原料の競争力



② PB製品の企画力



本資料の予想は、発表日現在において入手可能な情報及び一般的に認識されている経済・社会等の情勢に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後の経営環境の変化等様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

問い合わせ窓口 経営企画部 大森  
加賀谷  
tel:03-3279-0564